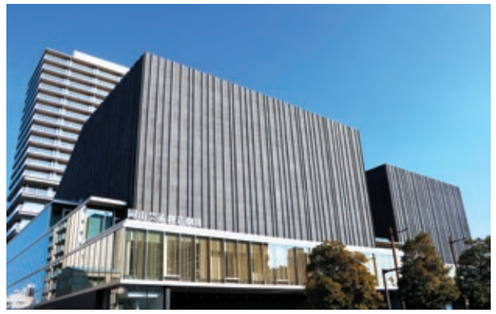
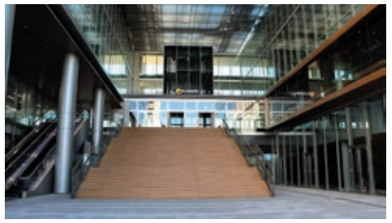
岡山芸術創造劇場

岡山芸術創造劇場は、岡山市民会館と岡山市立市民文化ホールに代わる“新たな文化芸術施設”です。子どもからお年寄りまで幅広い世代の方々が気軽に訪れ、交流し、コミュニケーションが図れる場所となり、新たな賑わいを生み出し続ける文化・芸術の発信拠点となる施設です。コンセプト「魅せる」「集う」「つくる」に沿って、演劇・ダンスなどの公演や作品創り、アーティストと市民が出会う体験型ワークショップなどを通じて、岡山の文化芸術の新たな創造活動を図り、地域の魅力づくり、未来を支える人材の育成に寄与していきます。



大劇場（1753席）・中劇場（807席）・小劇場（300人程度）は演劇、ダンス、伝統芸能、オペラ、ミュージカル・音楽劇、バレエなど様々な公演に対応。創造支援諸室（アートサロン・中小練習室・大道具・小道具・衣裳等各種工房）、情報展示ギャラリー等は小規模な発表や舞台芸術の創造に必要な活動などに利用可能。



TICKET

全席指定（税込）	S席 ￥10,000	A席 ￥8,000　B席 ￥6,000
	U24*1 ￥3,000	U18*2 ￥1,000

〈チケット購入に関するお願い〉

※未就学児童はご入場いただけません。※車椅子席は数に限りがございます。事前にお問合せください。※公演中止の場合を除き、ご予約・ご購入いただきましたチケットのキャンセル・変更はお受けできません。※U24、U18は岡山芸術創造劇場ボックスオフィス、岡山シンフォニーホールチケットセンターでのみ取り扱いとなります。※座席によっては字幕等見にくいお席がございます。※開演後は入場を制限させていただく場合がございます。開演時間に遅れた場合は、案内係の指示に従ってください。

*1 公演時24歳以下を対象とします。入場時に身分証を確認いたしますので必ずご持参ください。
*2 公演時18歳以下を対象とします。入場時に身分証を確認いたしますので必ずご持参ください。限定50席。

チケット取扱い

岡山芸術創造劇場 ボックスオフィス

オンラインチケット https://okayama-pat.jp/
窓口・電話 086-201-2200
（6.3までは日・祝を除く10:00～18:00／6.4より休館日を除く10:00～18:00）

- 岡山シンフォニーホールチケットセンター 086-234-2010（休館日を除く10:00～18:00）
- e+イープラス https://eplus.jp/　●チケットぴあ https://t.pia.jp/ ［Pコード 235-868］
- ローチケ https://l-tike.com/ ［Lコード 63711］
- ぎんざやプレイガイド 086-222-3244（平日10:00～18:30／土・日・祝9:30～17:00）

ハレノワ・メンバーズ、シンフォニーホール友の会先行……3.25［土］10:00～
e+イープラス先行……4.1［土］10:00～
一般発売……4.8［土］10:00～

※ハレノワ・メンバーズの先行はインターネットでのみ受付

お客様用の駐車場はございません。公共交通機関等をご利用ください。

ハレノワ・メンバーズ
登録受付中!
登録・年会費無料!

特典1 いち早くチケットを購入できる

特典2 インターネットから座席を選んでチケットが購入できる

特典3 お得な情報をご案内

ご希望の方には公演情報や先行発売などのお知らせをメールマガジンにてお送りいたします。
その他、ハレノワ・メンバーズを対象としたプレゼントを企画中!!

詳しくはこちらから
https://okayama-pat.jp/member

ハレノワの最新情報はこちら
Instagram　Twitter　公式サイト

ご来場のお客さまへお願い

新型コロナウイルス感染症対策に関して
当劇場では、ご来場の皆様に安心して公演等をお楽しみいただけるよう、対策を徹底して開催いたします。感染症の拡大などの状況により、内容の変更や公演の中止、または延期を余儀なくされる場合もございますので、最新の情報を劇場HPやSNSにてご確認ください。

公演にあたって
- やむを得ない事情により、公演内容・出演者が変更になる場合がございます。
- クロークおよび託児サービスは行っておりません。

JR岡山駅からのアクセス【JR岡山駅より路面電車】
東 山 行▶「西大寺町」下車 徒歩約5分
清輝橋行▶「大雲寺前」下車 徒歩約5分

●ご来場にあたって　お客様用の駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

岡山芸術創造劇場 ハレノワ
お問合せ　岡山芸術創造劇場
〒700-0822 岡山市北区表町3丁目11番50号
TEL 086-201-8000（代）　FAX 086-201-8004　https://okayama-pat.jp/

NISSAY OPERA 2023　岡山芸術創造劇場 ハレノワ〈こけら落とし公演〉

岡山芸術創造劇場 ハレノワ 開館事業

裏切られた女の壮絶な復讐劇
ケルビーニ渾身のオペラ
日本初演作品でハレノワの幕が上がる！

作曲◎ルイージ・ケルビーニ
台本◎フランソワ＝ブノワ・オフマン
イタリア語訳詞◎カルロ・ザンガリーニ
原作◎エウリピデス　ピエール・コルネイユ
指揮◎園田隆一郎
演出◎栗山民也
管弦楽◎岡山フィルハーモニック管弦楽団

メデア

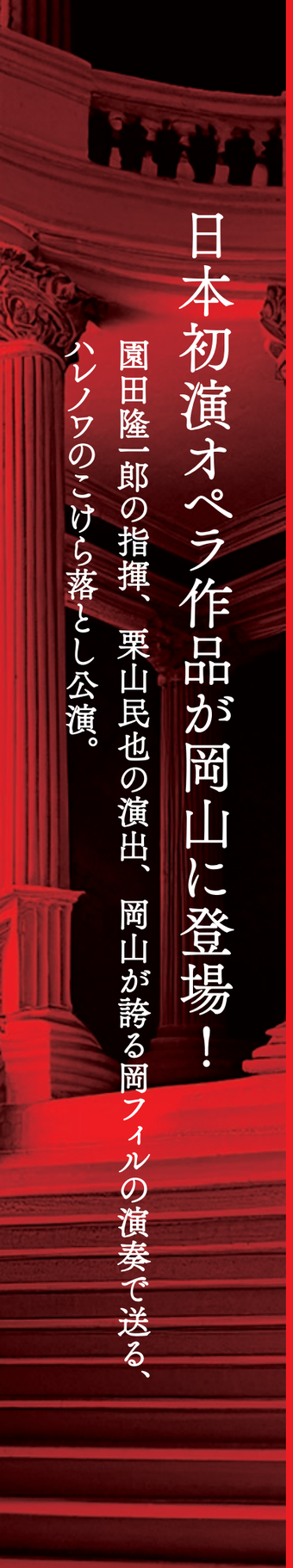
全3幕［イタリア語上演・日本語字幕付］新制作

2023.9.1 FRI 18:30開演　開場は開演の45分前

岡山芸術創造劇場 ハレノワ 大劇場

主催：岡山市、公益財団法人岡山文化芸術創造　企画・制作：公益財団法人ニッセイ文化振興財団［日生劇場］

原画・題字 ささめや ゆき



日本初演オペラ作品が岡山に登場！

園田隆一郎の指揮、栗山民也の演出、岡山が誇る岡フィルの演奏で送る、ハレノワのこけら落とし公演。

愛と憎しみに苦しみぬいた先に待つものは……
ギリシア悲劇に基づく、王女メデアの壮絶な復讐劇。

2023.9.1 FRI 18:30開演 開場は開演の45分前
岡山芸術創造劇場 ハレノワ 大劇場

ケルビーニの劇的音楽が紡ぐ、メデアの激情と葛藤から、不条理と矛盾に満ちた人間の本質が、鮮烈に浮かび上がる。
指揮に、オペラ・交響曲の両分野で国際的に活躍する園田隆一郎、演出に、演劇界の重鎮 栗山民也を迎え、岡フィルの演奏でお送りする日本初演作品。

Story

国王クレオンテは、数々の冒険に出かけて偉業を成し遂げた英雄ジャゾーネに娘のグラウチェを嫁がせる事にした。しかしグラウチェには前妻メデアの存在が重くのしかかっている。ジャゾーネは強引にメデアと離縁をしているからだ。クレオンテに謁見中のジャゾーネの前に、メデアが現れる。かつて交わした愛と、奪われた二人の子どものことを訴えるが、ジャゾーネに冷たく拒絶される。メデアは悲嘆と怒りのあまり、復讐を誓うのだった。

指揮｜園田隆一郎
RYUICHIRO SONODA, CONDUCTOR

© Fabio Parenzan

2006年、シエナのキジアーナ夏季音楽週間『トスカ』を指揮してデビュー。翌年、藤原歌劇団『ラ・ボエーム』を指揮して日本デビューを果たす。同年夏にはペーザロのロッシーニ・オペラ・フェスティバル『ランスへの旅』を指揮。その後国内外のオペラへの出演、オーケストラとの共演を重ねている。2017年度第16回齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。藤沢市民オペラ芸術監督。パシフィックフィルハーモニア東京 指揮者。

演出｜栗山民也
TAMIYA KURIYAMA, DIRECTOR

東京都出身。早稲田大学文学部卒業。2000年から2007年まで新国立劇場演劇部門芸術監督、また2005年から2015年まで新国立劇場演劇研修所長を務める。紀伊國屋演劇賞、読売演劇大賞の大賞及び最優秀演出家賞、芸術選奨文部科学大臣賞、毎日芸術賞千田是也賞、朝日舞台芸術賞、朝日舞台芸術賞グランプリ、菊田一夫演劇賞、紫綬褒章など受賞多数。著書に『演出家の仕事』（岩波書店）がある。

管弦楽｜岡山フィルハーモニック管弦楽団
OKAYAMA PHILHARMONIC ORCHESTRA,ORCHESTRA

岡山フィルハーモニック管弦楽団は、岡山にゆかりのある優れた演奏家を中心とするプロオーケストラで、岡山シンフォニーホールの完成を機に1992年に創立された。定期演奏会を始め、若い演奏家の育成事業、青少年の情操教育に資する事業、子育て支援や地元演奏団体との共演等、地域における音楽芸術振興の中心的役割を担っている。2022年度からは秋山和慶がミュージックアドバイザーに就任、一層の飛躍を図る。

メデア　岡田昌子
SHOKO OKADA, SOPRANO

イタリア在住。東京藝術大学大学院修了。二期会『ナブッコ』アビガイッレ、日生劇場『トスカ』及びグランドオペラ共同制作『トゥーランドット』タイトルロール等出演。伊・トッレデルラーゴ劇場及びセルビア国立劇場『蝶々夫人』、日本セルビア友好140周年記念式典で歌う等ヨーロッパを基盤に活躍。文化庁新進芸術家海外研修、五島記念文化賞オペラ新人賞、第46回日伊声楽コンコルソ第1位及び歌曲賞、マルモオペラ国際コンクール第1位（伊）。二期会会員。

ジャゾーネ　清水徹太郎
TETSUTARO SIMIZU, TENOR

京都市立芸術大学卒業、同大学院修了。第33回飯塚新人音楽コンクール声楽部門第1位をはじめ多数上位入賞。文部科学大臣賞、兵庫県芸術奨励賞他受賞多数。『カルメン』『魔笛』『夕鶴』『オテロ』『ラインの黄金』をはじめ多くのオペラに主要役で出演。びわ湖ホール声楽アンサンブルソロ登録メンバー。国内外で多くの演奏活動を行なっており、岡山県内では2016年山陽学園主催の『カルメン』ドン・ホセ役、2022年『第九』公演テノールソリスト等で出演。

©FUKAYA Yoshitoku / aura Y2

グラウチェ	ネリス	クレオンテ	第一の侍女	第二の侍女	衛兵隊長
小川栞奈	中島郁子	伊藤貴之	相原里美	金澤桃子	山田大智

合唱｜C.ヴィレッジシンガーズ

美術：二村周作　照明：勝柴次朗　衣裳：前田文子　ヘアメイク：鎌田直樹　振付：田井中智子　音響：佐藤日出夫（エス・シー・アライアンス）
字幕・翻訳：本谷麻子　演出助手：橋詰陽子　舞台監督：大澤 裕（ザ・スタッフ）　合唱指揮：キハラ良尚　副指揮：大川修司、粟辻 聡、矢野雄太
コレペティトゥア：平塚洋子、星 和代、髙田絢子

※やむを得ない事情により出演者等が変更になる場合があります。予めご了承ください。

design: Kazuaki Akizawa